



Human Geography

人文地理学専修

人文地理学とは、人間と環境・地域との関係を考察する学問分野です。そこでの主なキーワードには、環境・地域・空間・景観・場所・ネットワーク・フローなどがあり、多様な視点を持つのがこの分野の特徴です。人文地理学専修では、人間-環境関係、人間-空間関係をさまざまな角度から分析・考察しています。講義を通じて先行研究の視点や、方法論・手法などを理解し、演習や実習では、論文講読・フィールドワーク・データ解析・図表作成・プレゼンテーションなどを体験し、知識を深め、技術を習得します。

人文地理学専修は1995年に講座化されましたが、大阪大学には1950年代以来、人文地理学者が在籍し、地図研究の蓄積があります。また、近年では都市・農村研究の蓄積もあり、多面的な研究と教育を行ってきています。間口が広い専修であるといえるでしょう。

入口がたくさんあるのが人文地理学です！

人文地理学では、人間と地域・環境・空間・場所との関係を多面的に考えます。論理的・分析的に考えたり、現地調査にでかけたりします。多くのことに関心のある人を待っています。

論理的に考え、行動し、分析する人材の育成

人文地理学では、調査・研究の方法論や技法の理解、論理的な思考、そして現地調査などの経験を重視した教育を行い、地域や空間で展開する問題を構造的に捉える視点を養います。

<http://www.let.osaka-u.ac.jp/geography/>

教員

堤 研二 教授 つつみ・けんじ
 佐藤 康也 教授 さとう・れんや
 井本 恭子 准教授 いもと・やすこ



何を学んでいるの？

人文地理学の考え方

人間と環境との関わりを研究する学問として、熱帯や温帯地域の環境利用・環境問題・人口誌といった題材を紹介しつつ、地域性とそれを越えた人間性を理解するための地理学的方法論を学びます。

人文地理学の話題

主に都市に焦点を当て、都市化・都市システム・都市の内部構造・都市圏などに関する理論と事例について学び、地図・写真・映像など多彩な資料を通じて都市にアプローチします。

どんな授業があるの？

【講義題目】

人文地理学の展開と社会経済地理学
 地誌学の方法と課題
 歴史地理学の視座
 自然地理学の基礎とその応用

【演習題目】

人文地理学基礎演習Ⅰ・Ⅱ
 人文地理学文献講読
 地域調査実習
 人文地理学卒論演習

教員が選ぶ印象に残った卒業論文

時間地理学的分析

空間と時間とは密接に結びついており、その複数の次元に人間行動を位置づける手法は、スウェーデンのヘーゲルシュランドが確立しました。卒業論文では、推理小説で一連の密室殺人の現場にいた人間たちの行動を分析したものや、ストリート・パフォーマンスたちの行動を考察したものがありました。(選：堤研二 教授)

日本における女性就業の地域差とその要因

日本の女性就業率は、子供を育てる年齢に大きく落ち込むことが知られていますが、実は日本全国で大きな地域差がみられます。この卒論では、市町村レベルの全国データを用いて分析を行い、経済的要因だけでなく文化や女性就業に対する意識が地域差の要因となっていることを明らかにしました。(選：佐藤康也 教授)

【卒業論文題目】

大阪市西成区における民泊の立地展開と宿泊者の動向
 商店会組織の活動とその意義
 バイナリー発電を利用した温泉地の活性化に関する研究
 日本の都市部におけるシェアサイクル運営の課題
 外国人による日本の観光地の表象に関する研究
 書籍購買先の選択に関する研究
 ラストマイル関連施設の展開



卒業論文中間発表会の様子



実体視による空中（航空）写真の判読



教室創設21周年記念行事での展示（2016年10月）

「地域調査」と「人文地理学演習」の2つをご紹介します。

まずは地域調査から。人文地理学研究室では毎年、地域調査を実施しています。2014年から2019年にかけては、毎夏に島根県隠岐郡隠岐の島町を対象として地域調査を行いました。2016年には大阪大学の近隣地域を対象とした地域調査のグループもあり、どちらかを選択して参加する形でした。ここでは、隠岐の島町の地域調査について紹介します。隠岐の島町は、日本海に浮かぶ離島（島後）の1つです。独自の生態系や地形を有し、牛突きや古典相撲などの伝統ある文化が見られ、林業や漁業、観光業が盛んである一方、高齢化や人口流出が進む地域でもあります。地域調査は現地を訪ねる前から始まっています。島の基礎知識を把握しておくだけでなく、聞き取り調査の質問項目

をリストアップしたり、スケジュールを立てておく必要があります。当日は、実際に聞き取り調査を行いつつ、八朔牛突きなどの隠岐の貴重な文化を体験します。調査後には、各班で内容をまとめて報告書を作成します。人文地理学のスキルを実地調査で習得できるのが特徴と言えるでしょう。

そして人文地理学演習です。先ほど紹介した地域調査とも関わりがあり、地図の読み方や聞き取り調査のノウハウを身につけます。また、グループで統計分析や多変量解析を行ったり、GIS（地理情報システム）を扱い、分析内容をまとめます。地域分析の技法をグループで協力しながら学べることも特徴の1つと言えるでしょう。このような地域分析には数学や統計学の知識が必要になりますが、演習では初歩

的な内容にも触れていくので心配ありません。

以上、研究室について少しだけ紹介しました。両者に共通するのは、頭の中に知識を蓄えるだけでなく、それを実際に引き出して活用したり、手や体を動かして調査や研究を進めたりすることの重要性です。そんな人文地理学と一緒に学んでいきませんか。



文：T.T.（4年）



ドローンをを用いた台風による倒木被害調査

なぜ人文地理学専修に？

- ★地図を眺めるのが好きだったから。
- ★センターでも二次でも地理に助けられてきたので、このまま運命をともにしようと思ったから。
- ★人間環境と空間・場所を結びつけるという人文地理学特有の多角性に惹かれたから。
- ★自分の興味関心と地理を関連付けると何でもできるという幅広さがあるから。
- ★地理が好きだったから。

研究室に入って良かったことは？

- ★広い視野と深い知見が得られる。
- ★各地のお土産が食べられる。
- ★旅行時の交通手段についてアドバイスをくれる人が多い。
- ★社会派で、良い意味で文学部らしくない勉強ができる。
- ★バラ色のキャンパスライフがあなたを待っています！

研究室の雰囲気はどんな感じ？

- ★学部生と院生の垣根を越えて話ができるアットホーム感。
- ★研究には真面目に取り組み、飲み会などは楽しむ硬軟両様のメリハリ感。
- ★学部生でも気兼ねなく居座れる作業場。
- ★とても和やかな雰囲気です先輩や後輩といろいろな話ができる。

興味のある研究分野は？

- ★認知地理学という、「人間が空間や環境をどのように認識しているのか」を明らかにする分野。
 - ★都市の再開発やコミュニティの維持・形成といった分野。
- これから入学してくる後輩にメッセージを！**
- ★興味関心の幅を広げておくと、専門的な内容を掘り下げるときにも間違いなく役立ちます。
 - ★好奇心を持って余している方を歓迎したいと思います！
 - ★多様な切り口がある大学の地理学は、いろんなことに興味のある人にはうってつけの学び舎になるのではないのでしょうか。

高校時代、地理を履修していた？

- ★YES 9人／13人中
- ★やはり地理履修者が多いようですが、大学の地理学と高校の地理は少し違うので、履修していなかったからといって困ることはありません。

大学入学前、数学に苦手意識はあった？

- ★YES 6人／13人中
- ★人文地理学の授業では数学や統計学の知識を扱うことがありますが、数学に苦手意識があったメンバーも結構います。

